

こちらは

西原中学校区

コミュニティ・スクールです

コミュニティ・スクールの紹介

令和元年度、西原中・西原小による学校運営協議会を設置しました。翌年の令和2年度から十余二小も加わり、3校によるコミュニティ・スクールとなりました。

学校運営協議会委員は20人です。ふるさと協議会、町会、地域支援コーディネーター、民生委員、さわやかちば県民プラザ、消防署など地域のかたを初めPTA関係のかたなど3校の学校関係者が委員となり、「防災」「学校支援」「児童生徒支援」の分科会に分かれて活動しています。

今年度の取り組み

今年度は5月と12月に西原小に集まって全体会を行ったほか、各分科会に分かれても活動しました。

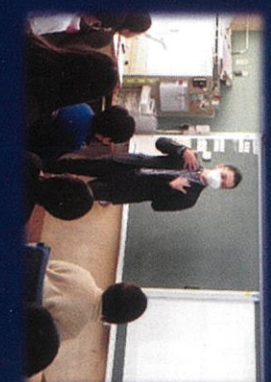
【防災】

今年度予定されていた3校合同引き渡し訓練は、コロナの関係で中止となくなってしまいました。が、防災は今後の課題として考えています。

【学校支援】

学校支援は、わくわく会が行っていた「しゃぼん玉教室」の見学をし、今後、どんな活動ができるのかを考えてみました。

「コミュニティ・シヨンのコーナーング」を小学校で実施しました。



【児童生徒支援】

児童生徒支援は、不登校の子どもたちへの声掛けができないか話し合いました。また、学童ルームへ行って子どもたちや保護者の様子の聞き取りをしました。

学校運営協議会

委員の声

【防災 鈴木さん】

地区住民の避難場所の適正確保や、今後学校地域が防災に対し連携して取り組みたいと考えております。

【学校支援 原田さん】

まずは情報連携から、という発想で同じ中学校区内の3校の取り組みを共有できたことが良かったです。次は更に広げていくフェーズです。たくさんの方に知ってもらいたい連携が深まるようにしていきたいです。

【児童生徒支援 西山さん】

「学校のために・・・」と同じ方向を向いている様々な組織がCSを通して一本化できる地域に根差した組織にしていければと思います。





Community School

コミュニティ・スクール通信

令和4年（2022年）3月発行
発行元 柏市教育委員会学校教育課
TEL:04-7190-5779

市では、これからの新しい時代を担う子どもたちの学びを豊かにするため、地域（住民）・家庭・学校が協働して子どもたちを育てる「地域とともにある学校」を目指して、コミュニティ・スクールの導入を進めています。

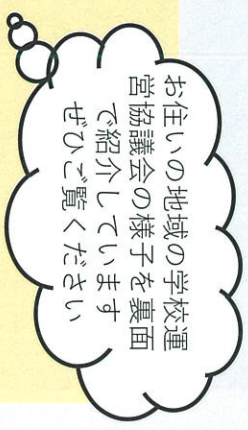
「コミュニティ・スクール通信」は、地域のかたや保護者のかたが、コミュニティ・スクールについて理解し、地域の子どもたちをみんなと一緒に子育てをしていくきっかけとなることを願い、発行しました。

コミュニティ・スクールってなに？

学校運営協議会を設置した学校のことです。

学校運営協議会とは、地域住民や保護者、学校の先生などが集まり、地域の学校に通う地域の子どもたちがどのような育ってほしいか、そのために何ができるかを話し合い、知恵を出し合う組織です。

令和3年度末時点で、小学校18校、中学校8校の計26校がコミュニティ・スクールとしてスタートし、今後すべての市立小・中学校がコミュニティ・スクールとなります。



学校運営協議会の役割って？

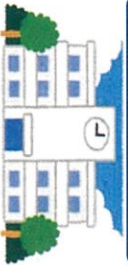
- ・校長の策定する基本的な学校経営方針を承認します
(OKではなく、Let'sと一緒にやりましょう)
- ・学校運営について意見を述べ、子どもたちのために何ができるか話し合います
(学校運営協議会の委員は、学校のスタッフの一員です)



テーマに沿って委員から意見を出し合います

コミュニティ・スクールとなることで

学校



- ・子どもの学びが広がり、深まる
- ・地域を知ることにより、地域を愛する子どもを育成する
- ・子どもが安心できる環境をつくる

教員が子どもと向き合う時間の確保に繋がります。



地域とともにある学校づくり

協働

両者が互いを理解し
みんなと一緒に子育て



地域



- ・多世代の人とのつながりを醸成するきっかけになる
- ・子どもの教育に関わることにより喜びを感じる

地域で育った子どもはやがて地域の力となります。



学校を核とした地域づくり